荘内日根野村へ、4月1日条で

は入山

田村長福寺にやってき

たことが記されています。この

までは東高野街道、そこから渡

京都から石清水八幡宮辺り

358

U

(現日根神

迎えるに

あ

4 月 2 日 たって

元に大井

政基公旅引付」 に見る日根荘

はその中から日根荘にまつ る事柄を紹介します。 数少ない文献といえます。今回 のときの日記「政基公旅引付」 年に日根荘で過ごしました。そ 01) 年から永正元 (1504) た九条政基 当時の村落の様子が分かる 国時代に日根荘の領主であ は、文亀元 1 5

橋在数(からはしありかず)を5(1496)年に政基らが唐機としています。一方で、明応でいることを、日根荘入りの動 日条では堺に寄ったのち日根を出発して住吉大社に到着、29 荘に来た理由のひとつと考えの立場が悪化したことも日根 殺害した事件後、京都での政基 護に「押妨(おうぼう)」され の乱」後に、日根荘が和泉国守 年3月吉曜条(きちようじょ う) では、前年に発生した「国 際の記事を見てみましょう。 に政基が日根荘にやってくる まず、文亀元 (1501) 同 年 亀3 (1503) 年の条では梅 8月13日には風流(仮装して集 るという理屈になるようです。 することで、穢(けがれ)を洗 げ入れるとされています。こう ようなものを七宝滝の滝壺に投 寺内の不動明王堂で行い、それ犬鳴山七宝滝寺内の七宝滝、同 たことが記されています。 果がなく、不作と飢饉に繋が らなくなり、雨乞いをするも効 雨に入ったもののすぐに雨が降 の意を示しています。一方で文 団で踊る芸能)という形で感謝 その後は、7月22日に雨が降り、 い流すために神仏が雨を降らせ でも降らなければ鹿の骨や頭の

寺で行われた法会(ほうえ)・ つ見え、当時の農作業と関連付 付」には日根荘独自の祭礼が5 見てみましょう。「政基公旅引 られます。1月16日に円満 最 後に祭礼に関する記事 、せま Ě

と考えられます。 日根荘までは熊野街道を用 淀川の河川交通 を、 渡辺津

初は火走神社で行い、その後は てみましょう。文亀元 いの方法が記されています。 1)年の7月20日条には、雨乞 次に雨乞いに関する記事を見 1 5 0 いた が、24・25日には火走神社の祭が多く、15日に和泉五社祭礼期の行事です。8月後半は祭礼米の収穫の準備を始める転換ばんえ)は夏麦の収穫を終え、ぼんえ)は夏麦の収穫を終え、 礼が行われました。和泉五社の 向けた農作業の転換を告げるれた祭礼は、田植えや麦刈に 祭礼は放生会(ほうじょうえ) 後に行われる盂蘭盆会(うら 祭礼と言えます。

と見ることもできます らは収穫前に豊穣を祈るも のといえますが、時期的にこれ を戒める行事」の系譜を引くも 捕らえた生き物を解放し殺生

レイクアルスタープラザ・ カワサキ歴史館いずみさの ☎469-7140 Fax469-7141 休館日 月曜日、毎月最終木 曜日(いずれも祝日の場合は 開館し、その翌日が休館)

開館時間

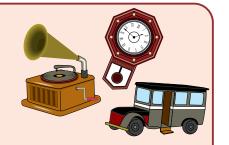
午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) 入館料 無料



▲風流(常設展示より)

泉佐野 プトロタイムスリッフ

泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。 ⑯駅シリーズ 南海 井原里駅



7月15日前



▲開設されたころ、昭和27年ごろ の井原里駅。駅の命名には池田谷久 吉が関わっていたようです。

▼昭和34年ごろの和歌山側から撮った空撮写真(矢印が井原里駅)。手前には 佐野川が流れており、駅の海側には工場らし 三角屋根の建物が見えます。





▲現在の井原里駅前の様子。現在は山 -ムにも改札ができています。

泉佐野市の懐かしい写真は「泉佐野市デジタルアーカイブ (https://adeac.jp/izumisano-city/top/)」 でも公開中!